

新発見・西宮の地下に眠る古代遺跡 —浮かびあがる武庫郡の中心—

2018年3月17日(土) 13:00~17:10 (12:30開場)

大手前大学さくら夙川キャンパス A44教室
西宮市御茶屋所町6-42 (JRさくら夙川 駅徒歩7分/阪急夙川駅 徒歩7分)
入場無料・予約不要

《プログラム》

- 13:00~13:05 シンポジウムの趣旨
森下章司 (大手前大学史学研究所)
- 13:05~13:40 古墳時代集落としての高畑町遺跡
— 既往の調査成果と第9次調査速報 —
森下真企 (西宮市教育委員会)
- 13:40~14:00 高畑町遺跡出土の木器
上原真人 (辰馬考古資料館)
- 14:00~14:35 津門の遺跡と前方後円墳
山田暁 (西宮市教育委員会)
- 14:35~14:55 津門稻荷町遺跡と西摂地域の埴輪
廣瀬覚 (独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所)
- 14:55~15:10 休憩
- 15:10~15:50 発掘調査から構成する西宮地域史
合田茂伸 (西宮市教育委員会)
- 15:50~16:20 阪神中心部地域曙期の地域像と歴史像
— 最新考古資料の分析・検討をふまえて —
森岡秀人 (関西大学大学院)
- 16:20~17:10 シンポジウム 西宮の古代遺跡の意義を探る

